

ルーフスポイラー type-B 取付要領書

車名：デリカ D:5 | 年式：07.01-19.10/19.02-ディーゼル | 適合：ALL |

このたびは、ジャオスの商品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本書は「ルーフスポイラー type-B」の取り付けについて記載してあります。

商品を取り付ける前に必ずお読みいただき、正しく取り付けを行ってください。

商品の取り付けには危険を伴う場合がございますので、専門知識を有する自動車用品販売店
または自動車整備工場での取り付けを推奨します。



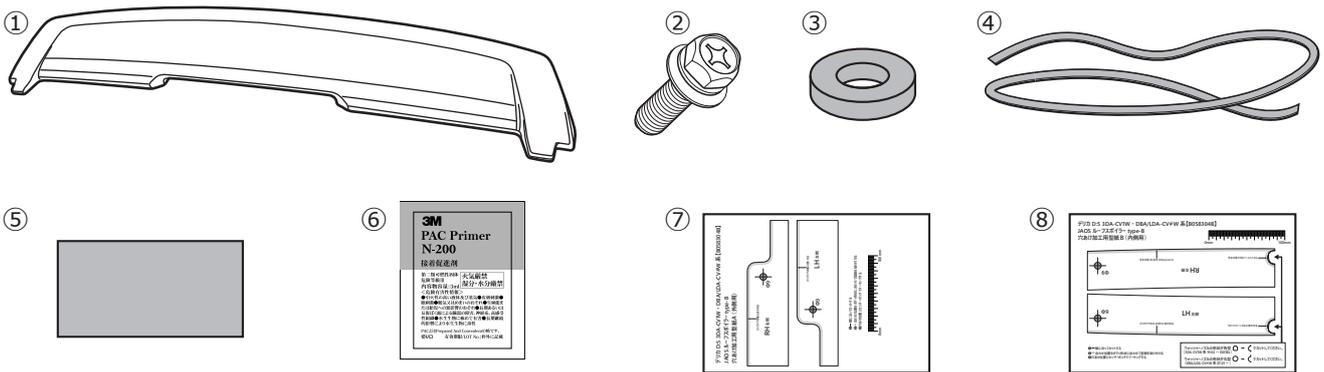
商品の取り付け完了後、本書を必ずお客さまにお渡しください。



取付参考時間：約1.5時間

構成部品

※商品を取り付けるまえに商品の状態（破損や故障）と付属品の有無をご確認ください



■ 取り付けに必要な工具

一般工具 ドリル (3.0 mm/6.0 mm/9.0 mm) 丸やすり センターポンチ タッチアップペイント
カッターナイフ はさみ 軍手 保護シート 保護テープ 養生テープ マスキングテープ

No.	品名	数量	No.	品名	数量
①	ルーフスポイラー	1	⑤	カッティングシート	1
②	アプセットセムスボルト (P3)	4	⑥	PACプライマー	1
③	スポンジワッシャー	4	⑦	型紙A (上側)	1
④	エプトシーラー	4	⑧	型紙B (下側)	1

取り扱い上のご注意

この取扱要領書で使用している表示の意味と内容

-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、生命の危険または重大な障害を負う可能性がある内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、事故による障害を負う可能性または物的損害が想定する内容を示しています。
-  **アドバイス** この表示は効率よく作業を行うために知っていただきたい内容を示しています。

商品は改良のため仕様および形状などを予告なく変更することがあります

取り付け作業を行うまえに

-  **警告** ● 取り付ける車両の安全を確認・確保してください。
-  **注意** ● 取付要領書を必ずお読みください。

安全に作業を行うために

-  **注意** ● 純正部品の脱着は当該車両の修理書にしたがい作業を行ってください。
- 製品は丁寧に扱ってください。
- 作業に適した服装で作業を行ってください。

取り付けについて

-  **警告** ● 必ず既定の締め付けトルクにて締め付けを行ってください。
-  **注意** ● 取り付け後には必ず取り付け確認と走行テストを行ってください。

使用上の注意事項

-  **警告** ● 設計荷重の範囲内で使用してください。
-  **注意** ● 定期的な点検を行ってください。
- 薬品などの付着に注意してください。
- 路面とのクリアランスや環境変化による走行には十分ご注意ください。

中古品の売買および譲渡や廃棄について

-  **注意** ● 同じ商品でも販売時期や仕様変更などにより内容が異なる場合があります。
- 商品や付属品が正確に判別することができない場合、お問い合わせに対する回答内容は保証いたしかねますのでご了承ください。
- 商品に不具合が生じている場合はお買い求めの販売店や弊社にご相談ください。
-  **アドバイス** ● 商品の破棄は専門家に相談してください。

保証について

- **初期不良の保証…お届けから1週間以内**
商品の破損、不具合などトラブルがあった場合、初期不良の保証対象として修理、代品交換、返品を承ります。
- **製品保証…弊社オリジナル商品をご購入より1年間** ※ただし、期間内でも走行距離20,000kmまで
初期不良に該当する場合や一部消耗品を除き、購入履歴をお調べし規定に従い保証いたします。

 保証についての詳細はJAOSオフィシャルサイトをご参照ください。【保証について】 www.jaos.co.jp/support/policy ▶



未塗装品の塗装について



注意

塗装前には必ず取り付け確認を行ってください。

塗装後の製品交換はお受けしかねますのでご了承ください。

一部の塗装膜厚のある塗装行くと製品が変形する場合があります。

1. 塗装面の清掃・脱脂を行い、汚れや油分を取り除きます。
2. サンドィング処理後、プライマー塗装を行います。
3. 上塗り塗装後、十分に乾燥させます。

本製品を塗装する際は材質の特性上高温焼付け塗装は行わないでください。

常温または製品表面温度が 30 ~ 40℃程度の低温焼付けを行ってください。

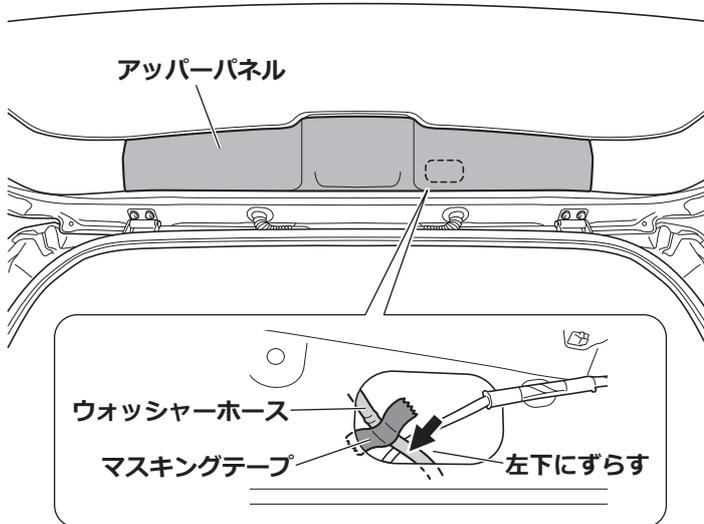
ルーフスポイラー①を塗装してください。

※塗装済みの商品は必要ありません

取付要領

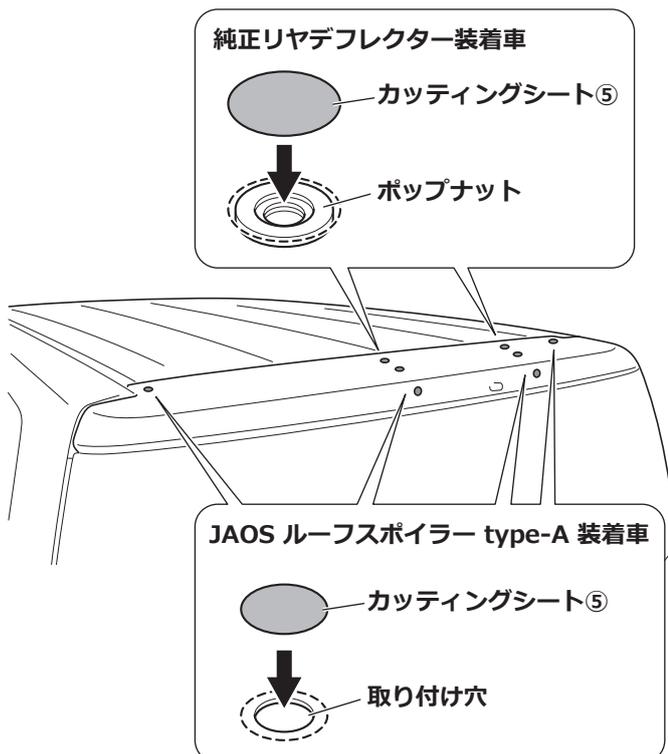
※図中や文中の○数字は構成部品のナンバー ●数字は作業の順番を示しています

1. 車両部品の取り外し



□車両の修理書を参照しバックドアのアッパーパネルを取り外します。

□左図の位置にあるウォッシャーホースを左下にずらし、マスキングテープなどで固定します。



□純正リヤデフレクターまたはJAOS ルーフスポイラー type-Aを取り外します。(純正リヤデフレクターまたはJAOS ルーフスポイラー type-A 装着車のみ)

□取り付け穴を Cuttingシート⑤でふさぎます。

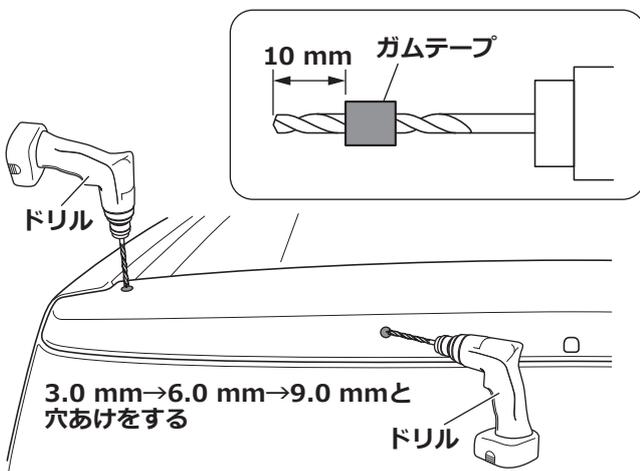
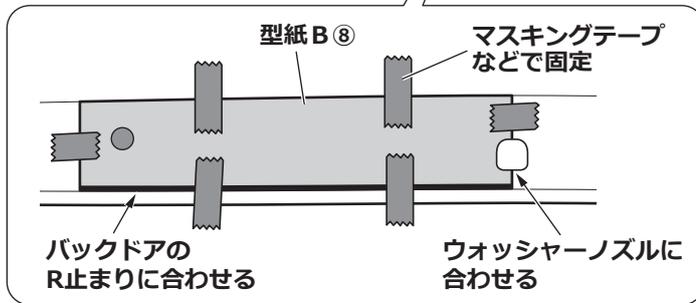
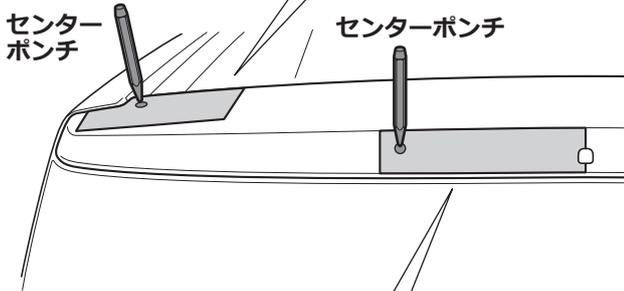
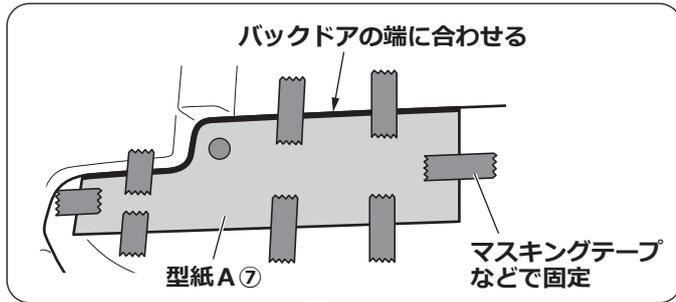


注意

ポップナットをふさぐ場合は、Cuttingシート⑤をポップナットの大きさより少し大きめにカットしてください。

2. 車体の穴あけ加工（4箇所）

左側図示 ※右側も同様



□型紙A⑦と型紙B⑧の左右をそれぞれカットします。

! 注意 型紙B⑧はウォッシャーノズルの形状によってカットするラインが異なりますので、注意してください。

□図のように型紙A⑦と型紙B⑧をバックドア上部の形状に合わせて、マスキングテープなどで貼り付けます。

□穴あけ位置をセンターポンチでマーキングします。

※作業は左右対称に行います。

□型紙A⑦と型紙B⑧をはがします。

□ドリル先端にストッパーとして10 mmの位置にガムテープを巻き付けます。

□下穴としてドリルで3.0 mm、6.0 mmと穴をあけ、最後に9.0 mmで本穴をあけます。

※作業は左右対称に行います。

! 注意 穴あけ加工は室内を損傷しないよう十分に注意しながら行ってください。

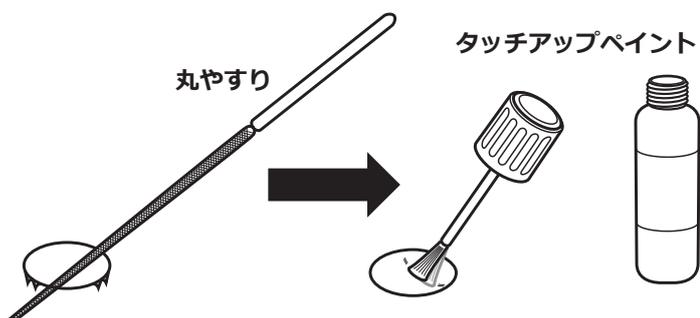
下穴をあけずに作業するのは絶対におやめください。穴位置がずれる恐れがあります。

! アドバイス 本穴（9.0 mm）以外の下穴で使用するドリルビットは、指定のサイズに近いものであれば問題ありません。

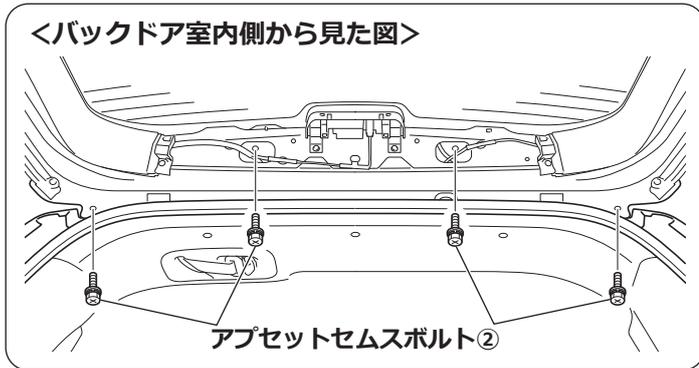
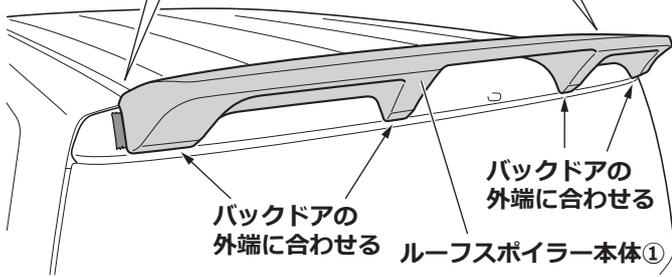
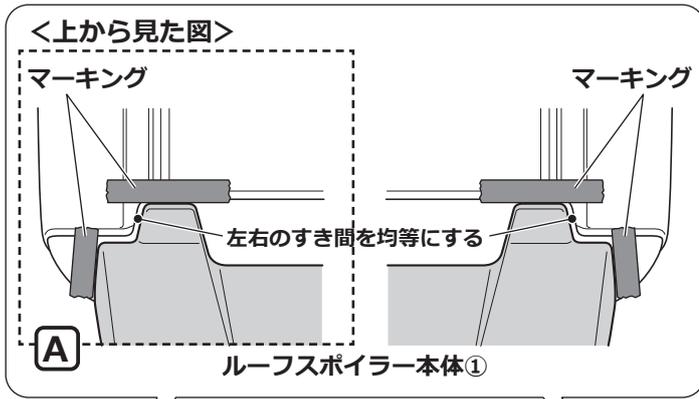
□丸やすりで穴のふちにできたバリを取り除きます。

□下地が見える部分をタッチアップペイントでサビ止め処理を施します。

! 注意 サビ止め処理は必ず行ってください。穴周辺からサビが進みボルトが抜け落ちる恐れがあります。

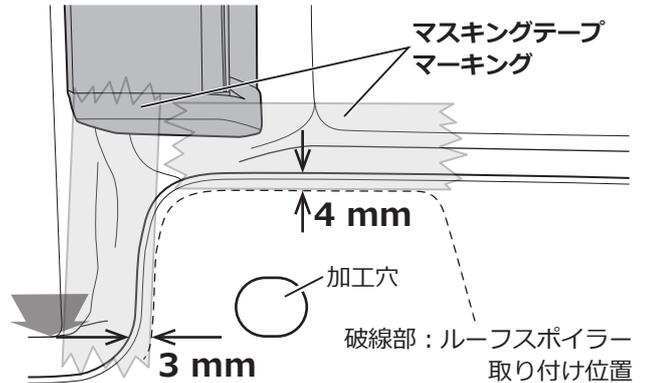


3. ルーフスポイラーの取り付け準備



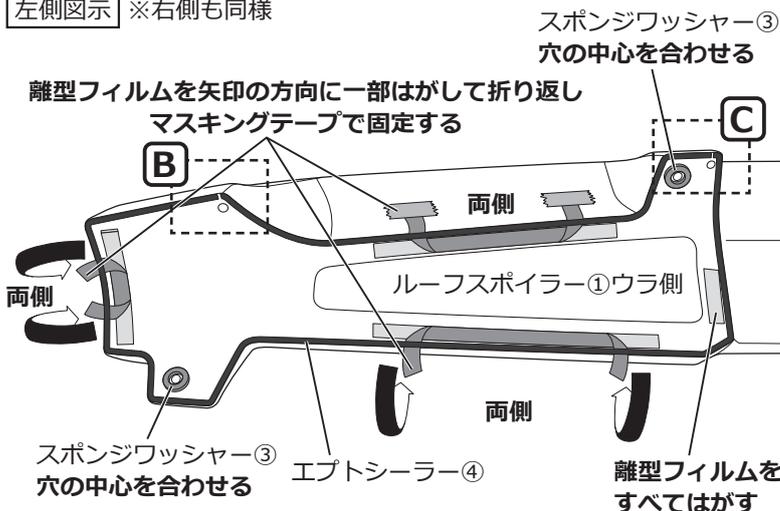
- 左図のようにルーフスポイラー本体①をバックドアにあてがい、アプセットセムスボルト②で仮固定します。
- 図を参照し、上下左右のバランスを整え、取り付け位置をマスキングテープなどでマーキングします。
※作業は左右対称に行います。
- ルーフスポイラー本体①を取り外します。

A部拡大図 ※右側も同様



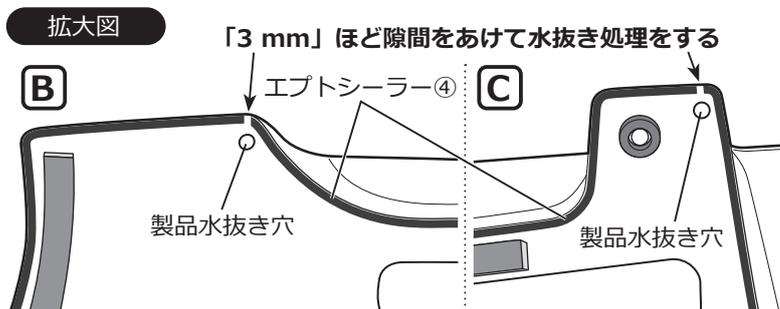
矢印の端部から延長線で寸法をはかり
取り付け位置をマーキングする

左側図示 ※右側も同様



- 図の位置にスポンジワッシャー③とエプトシーラー④を貼り付けます。
- ルーフスポイラー①裏側の両面テープ離型フィルムを矢印の方向に一部はがし、意匠面(表側)に折り返してマスキングテープで固定します。(指示以外の箇所については離型フィルムをすべてはがしてください)。

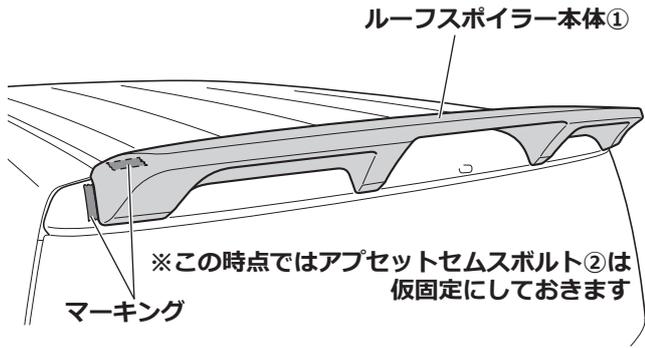
※作業は左右対称に行います。



- 拡大図B・Cを参照し、ルーフスポイラー①の水抜き穴を基準とし垂直方向に「3 mm」ほど隙間をあけ、水抜き処理をします。

注意 エプトシーラー④を貼り付けてから水抜き用の隙間をあける場合は、はさみやカッターナイフで製品をキズつけないよう注意してください。

左側図示 ※右側も同様



□仮固定で確認した取り付け面を脱脂・清掃し、PACプライマー⑥を塗布します。

※PACプライマーの使用については、下記の注意をご覧ください。

□ルーフスポイラー本体①をマーキングの位置に合わせ、アブセットセムスボルト②で仮固定します。

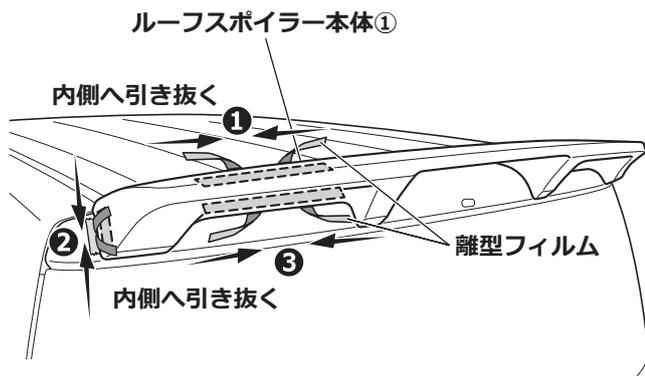


両面テープ接着力促進剤使用時の注意 (3M/PACプライマー N200)

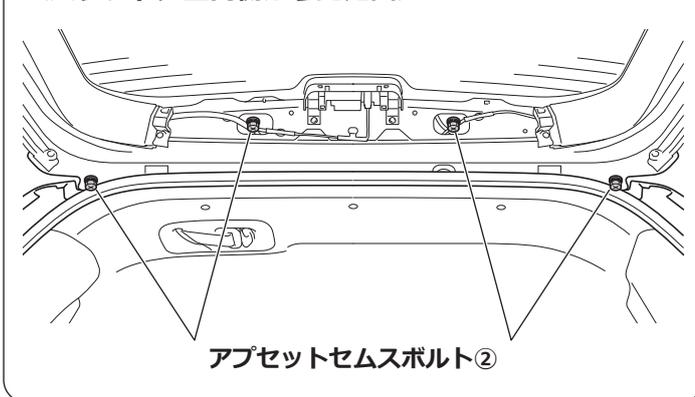
- 袋から不織布を取り出して、取り付け面へ均一に塗布してください。
- 不織布が乾くまでに作業を行ってください。(揮発性が高いので、使用しない場合は速やかに袋に戻して、揮発するのを抑えてください)
- プライマーの効力を発揮させるため、塗布後は常温で10分間程度乾燥させてください。
- プライマーは塗装面を黄変させるので必ず塗装面をマスキングして、はみ出したプライマーは早めにアルコールなどで完全に拭き取ってください。

4. ルーフスポイラーの取り付け

左側図示 ※右側も同様



<バックドア室内側から見た図>



□両面テープ離型フィルムを図の順に引き抜き圧着します。



アドバイス

両面テープは気温が20℃以下になると接着力が低下します。気温が低い場合は、作業前に両面テープ及び被接触面をドライヤーなどであたためてから作業を行ってください。

両面テープの圧着は49 N・m (5 kgf/cm²)以上で行ってください。

取り付け完了後、3時間程度は強い力をかけたり水に濡れない様に注意してください。両面テープのはがれや取り付け部分に隙間が発生する可能性があります。

□取付状態を確認し、アブセットセムスボルト②を本締めします。



アドバイス

ボルトをあまり強く締め付けるとボルト穴が破損する可能性がありますので、注意してください。

□ルーフスポイラー本体①が車体にしっかりと固定されていることを確認し、マスキングテープをはがします。

取り付け状態の確認



注意

作業完了後は必ず取り付け確認を行ってください。ボルト類の締め忘れや両面テープ部の圧着不足などにより本体が脱落するおそれがあります。